

2	第二回古文単語テスト				組		番 号		名 前		得 点	
---	------------	--	--	--	---	--	-----	--	-----	--	-----	--

(20-04-20)

一、次の傍線部の意味として適当なものを、後の選択肢の中から選んで符号で答えなさい。【選択問題】

① 風冷やかにうち吹きて、やや更けゆくほどに、

「ア 吹き続け イ 吹き荒れ ウ 緩く吹い エ さっと吹い」

② 声高になのたまひそ。屋の上をる人どもの聞くに、いとまさなし。

「ア おっしゃってくれるな イ おっしゃるな ウ おっしゃるなあ エ おっしゃるなんて」

③ 人やりならぬわざなれば、とひとぶらはぬ人ありとも、夢につらくなど思ふべきならねば、

「ア 自ら求めての イ 他人のせい ウ あなたのせい エ 他人が求めての」

④ 多くのたくみの、心をつくして磨きたて、唐の、大和の、めづらしく、えならぬ調度ども並べ置き、

「ア どうにもならない イ 何とも言えないほどすばらしい ウ できそうもない エ 言いよ
うもないほどひどい」

⑤ いはけなき鶴の一声聞きしより葦間になづむ舟ぞえならぬ

「ア 並たいていでない イ どうしようもない ウ 言う気にもならない エ できそうもない」

⑥ 人はしづまりぬらむ。さりぬべきものやあると、いづくまでも求め給へ。

「ア 適当な イ できそうな ウ 避けることのできない エ 思い通りの」

⑦ 目眉額なども腫れまどひて、うち覆ひければ、物も見えず、

「ア 包んでしまっ イ すっかり包み隠し ウ むやみに隠し エ 頭からかぶっ」

二、次の傍線部の現代語訳を、全文訳の文の空欄に補いなさい。【記述問題】

① はしたなきもの、こと人を呼ぶに、われかとてさし出でたる者。

間が悪いもの、(それは) 別の人を呼ぶのに、「 」と思つて顔をさし出した者。

② たづかなき雲井にひとりねをぞ泣くつばさ並べし友を恋ひつつ

頼りのない宮中でひとり「 」。翼を並べた(共に出仕した) 友を恋い慕いして。

③ その心に随ひてよく思はれむことは、心うかるべし。されば、何かは女の恥づかしからむ。

女の思う通りに(男が) 行動して(女に) よく思われるようなのは、不愉快であろう。「 」、
どうして女に気後れしようか、いや気後れすることはない。

一	①		②		③		④		⑤		⑥		⑦	
二	①				②				③					

第二回古文単語テスト

解答

尚文

(20-04-20)

一、次の傍線部の意味として適当なものを、後の選択肢の中から選んで符号で答えなさい。【選択問題】

① 風冷やかにうち吹きて、やや更けゆくほどに、

「ア 吹き続け イ 吹き荒れ ウ 緩く吹い エ さっと吹い」

② 声高になのたまひそ。屋の上をる人どもの聞くに、いとまさなし。

「ア おっしゃってくれるな イ おっしゃるな ウ おっしゃるなあ エ おっしゃるなんて」

③ 人やりならぬわざなれば、とひとぶらはぬ人ありとも、夢につらくなど思ふべきならねば、

「ア 自ら求めての イ 他人のせい ウ あなたのせい エ 他人が求めての」

④ 多くのたくみの、心をつくして磨きたて、唐の、大和の、めづらしく、えならぬ調度ども並べ置き、

「ア どうにもならない イ 何とも言えないほどすばらしい ウ できそうもない エ 言いよ
うもないほどひどい」

⑤ いはけなき鶴の一声聞きしより葦間になづむ舟ぞえならぬ

「ア 並たいていでない イ どうしようもない ウ 言う気にもならない エ できそうもない」

⑥ 人はしづまりぬらむ。さりぬべきものやあると、いづくまでも求め給へ。

「ア 適当な イ できそうな ウ 避けることのできない エ 思い通りの」

⑦ 目眉額なども腫れまどひて、うち覆ひければ、物も見えず、

「ア 包んでしまつ イ すっかり包み隠し ウ むやみに隠し エ 頭からかぶつ」

二、次の傍線部の現代語訳を、全文訳の文の空欄に補いなさい。【記述問題】

① はしたなきもの、こと人を呼ぶに、われかとてさし出でたる者。

間が悪いもの、(それは) 別の人を呼ぶのに、「 」と思つて顔をさし出した者。

② たづかなき雲井にひとりねをぞ泣くつばさ並べし友を恋ひつつ

頼りのない宮中でひとり「 」。翼を並べた(共に出仕した) 友を恋い慕ひして。

③ その心に随ひてよく思はれむことは、心うかるべし。されば、何かは女の恥づかしからむ。

女の思う通りに(男が) 行動して(女に) よく思われるようなのは、不愉快であろう。「 」、
どうして女に気後れしようか、いや気後れすることはない。

一	①	エ	自分のことか	②	ア	③	ア	④	イ	⑤	ア	⑥	ア	⑦	イ
二	①			②	③	ア	④	イ	⑤	ア	⑥	ア	⑦	イ	

「A」次の傍線部の意味を後から選びなさい。

1 秀吉は、信長の死によって頓挫したそれを、おれがやると、誓い出した。(吉川英治「新書太閤記(十)」)

①計画や事業などを途中で遂行できなくすること

②計画や事業などの完了後に問題が発生すること

③計

画や事業などがまったくの白紙になること

④計画や事業などが途中で遂行できなくなる

1 「

2 支配関係が正常に働いていれば社会秩序は自然の摂理のように表象され、疎外状態を感じることさえあり得ない。

(小坂井敏晶「民族という虚構」)

①歴史が示すこの世の真実

②弱肉強食の生き物の定め

③厳然として存在する法則

④人間の力が届か

ない分野

2 「

3 欧米との比較で日本社会の特徴が論じられる際に、よく言及されるテーマの一つに〈公／私〉の区別という問題がある。(仲正昌樹「〈法〉と〈法外なもの〉」)

①主観

②主題

③主体

④主義

3 「

「B」次の傍線部の意味を答えなさい。

4 ノンバーバルなコミュニケーションの大切さが説かれることが多くなっている。文字情報などよりも、映像などビジュアルな情報が多く氾濫するようになった現代社会の特徴といえるかもしれない。(斎藤茂太「他人に理解される人誤解される人」)

4 「

5 〈放浪〉は、家の外に出た女性が遭遇する新たな他者との葛藤を描く、〈自己語り〉としての〈近代小説〉を生み出す契機となる。(中川成美「語りかける記憶」)

5 「

6 規定因が生得的なものであるなら、それを社会の側が変えることはできず、社会的要因を探るのが仕事である社会科学の出番もない。だから、社会学者もまた、職業上、環境説の方に荷担してきたと言ってよい。(立岩真也「私的所有論」)

6 「

「C」次の傍線部のカタカナ語の訳語を指定の字数で答えなさい。

7 彼らは相互に全然別の原則に従って実在の世界の事物を分類し、それを全く異ったカテゴリー(2字)に類別しているのである。(井筒俊彦「意味の構造」)

7 「

「D」次の傍線部のカタカナを漢字に改めなさい。

8 ある時期を境に原点カイキしたかのような画風に変化した。

8 「

解答

第二回 (四月二二日分) 新現代文単語改訂版 P 56～P 71

- 1 (④) [評論編・139]
- 2 (③) [評論編・130]
- 3 (②) [評論編・155]
- 4 (言葉以外のコミュニケーション) [評論編・152]
- 5 (物事が成立する直接の根拠) [評論編・140]
- 6 (生まれ持ったもの) [評論編・131]
- 7 (範疇(部門)) [評論編・147]
- 8 (回帰) [評論編・158]